

# 国分寺表門



<http://digitalarchiveproject.jp/information/国分寺表門>



〈市指定〉昭和 52 年 5 月 8 日

〈所有者〉国分寺

〈所在地〉総和町 1 丁目 83 番地

〈時代〉元文 4 年(1739)

〈員数〉1 棟 2 枚

四脚門(1 棟)桁行 3.090m、梁間 1.303m、二重柿軒付、銅板葺

棟札(2 枚)①棟木の下端西側に元文 4 年(1739)8 月の創建棟札、大工松田太右衛門、葺屋富田喜兵衛、内山伝四郎

②棟木の下端東側に享和 3 年(1803)の葺替棟札、葺師前原平蔵

元文 4 年 8 月、飛騨代官長谷川忠崇の手代小林儀右衛門ら 4 名の寄進により、飛騨の名工松田太右衛門が建てた。

冠木(かぶき)上に架せられた板墓(かえる)股(また)や、腕木の繰り形にこの地方中期の好例を残しており、形態も美しい。当初基壇がなく、地表面上に建てられていたが、保存のため基壇が設けられた。昭和 53 年にはのし板葺であった屋根も現在の銅板葺に改められた。

## 飛騨国分寺の文化財

①飛騨国分寺の大イチョウ ②国分寺三重塔 ③国分寺表門 ④国分寺本堂

⑤飛騨匠木鶴大明神像及び版木 ⑥藤原宗安像 ⑦飛騨国分寺塔跡

飛騨国分寺の歴史は、古く奈良時代までさかのぼる。現在、奈良時代の飛騨匠が造った建物を目にするにはできないが、境内には、七重塔の心礎や金堂の礎石(現在の本堂床下)が残り、その規模から飛騨匠の木工技術者としての技術の高さを想像することができる。

その技術は後世にも脈々と受け継がれ、室町時代には本堂が、江戸時代には三重塔が造られた。また、本堂には「飛騨匠の祖」として崇敬を集める木鶴大明神・藤原宗安像が安置され、1,000 年以上にわたる飛騨匠の歴史が刻まれた場所となっている。

説明板より



001\_① 山門・外観その1001



002\_① 山門・外観その1002



003\_① 山門・外観その1003



004\_① 山門・外観その1004



005\_① 山門・外観その1005



006\_① 山門・外観その1006



007\_① 山門・外観その1007



008\_① 山門・外観その1008



009\_① 山門・外観その1009



010\_① 山門・外観その1010



011\_① 山門・外観その1011



012\_① 山門・外観その1012



013\_① 山門・外観その1013



014\_① 山門・外観その1014



015\_② 山門・外観その2001



016\_② 山門・外観その2002



017\_② 山門・外観その2003



018\_③ 山門・外観その3001



019\_③ 山門・外観その3002



020\_③ 山門・外観その3003



021\_③ 山門・外観その3004



022\_③ 山門・外観その3005



023\_③ 山門・外観その3006



024\_③ 山門・外観その3007



025\_③ 山門・外観その3008



026\_③ 山門・外観その3009



027\_③ 山門・外観その3010



028\_③ 山門・外観その3011



029\_③ 山門・外観その3012



030\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ001



031\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ002



032\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ003



033\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ004



034\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ005



035\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ006



036\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ007



037\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ008



038\_④ 山門・そばの庚申堂、サルボボ009



039\_⑤ 山門・六地藏001



040\_⑥ 山門本体001



041\_⑥ 山門本体002



042\_⑥ 山門本体003



043\_⑥ 山門本体004



044\_⑥ 山門本体005



045\_⑥ 山門本体006



046\_⑥ 山門本体007



047\_⑥ 山門本体008



048\_⑥ 山門本体009



049\_⑥ 山門本体010



050\_⑥ 山門本体011



051\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)001



052\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)002



053\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)003



054\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)004



055\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)005



056\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)006



057\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)007



058\_㊦ 山門・周辺の碑(北側)008



059\_㊧ 山門・説明板001



060\_㊧ 山門・説明板002



061\_㊧ 山門・説明板003